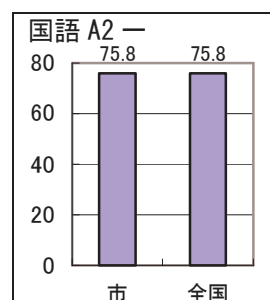


中学校 国語 【 話すこと・聞くこと 】

◇正答率からみた現状

|   | 設問 | 出題の趣旨                             | 市    | 全国   | 差   |
|---|----|-----------------------------------|------|------|-----|
| A | 2一 | 効果的なスピーチをするために話し方の工夫をする。          | 75.8 | 75.8 | 0   |
|   | 2二 | 自分の意見を伝えるために、適切な材料を選ぶ。            | 90.4 | 88.1 | 1.3 |
|   | 4一 | 話の内容から必要な情報を的確に聞き取る。              | 93.0 | 92.7 | 0.3 |
|   | 4二 | 聞いた話の中に必要な情報が含まれているかを判断し、適切に質問する。 | 92.2 | 90.9 | 1.3 |



☆国語 A「知識」に関する問題

- 2二は、効果的なスピーチをするために話の展開の仕方を工夫する力を問われる問題である。自分の考えを聞き手に理解してもらうために工夫する力は、おおむね身につけているようである。
- 4一、二は、必要な情報を的確に聞き取る力、情報が不足している場合に適切に質問する力を問われる問題である。必要な情報を選択してメモしたり、不足している情報に気づいて質問したりする力はおおむねあるようだが、日常生活の中でその力が活用されているかという疑問である。
- 2一は、効果的なスピーチをするために話し方の工夫をする力を問われる問題である。聞き手の反応を考え、スピーチに聞き手の関心をひきつける工夫をする力は、全国平均と同様に約4分の1の生徒が苦手としている。

◇課題等

- 課題1 聞き手を意識した効果的な話し方の工夫を学習すること。
- 課題2 話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取る力を身につけること。

◎ 課題に関連する単元とその背景にある問題点

【課題1】 ≪A知識に関する課題≫

◇関連する単元

1年：「分かりやすく話そう」「100秒スピーチをしよう」、1年：「効果的な話し方をしよう」「3分間スピーチをしよう」、3年：「説得力のある話し方をしよう」「自己PRスピーチをしよう」

◇背景にある問題点

▼ 聞き手の反応を考えた話し方や聞き手にとってわかりやすい話の進め方に意識して、話をする経験が乏しい。

【課題2】 ≪A知識に関する課題≫

◇関連する単元

1年、2年、3年：「聞き上手になろう」

◇背景にある問題点

▼ 与えられた情報をメモする場面は学習活動の中にあるが、必要な情報を吟味したり、不足している情報に気づいて質問したりするまでの活動にまでは学習が深まりにくい。

## 課題1の対応策

### 指導のねらい

- ・ 説得力のある話し方のポイントを考え、ロールプレイングによる練習を通して話し方を身につけることができるようにする。

### 授業例

#### 教材例

3年「説得力のある話し方をしよう」

#### 学習の流れ

- ① 説得力のある話し方のポイントを知る。
  - ・ 相手の意見を受け止める
  - ・ 数字や根拠をあげる
  - ・ 反論を想定して話す
- ② ロールプレイングの目的を理解し、説得力のある話し方について考える。
- ③ ロールプレイングを通して説得力のある話し方について考え、理解する。

## 課題2の対応策

### 指導のねらい

- ・ 自分の意見をからめながらより吟味して聞く力を養うことができるようにする。

### 授業例

#### 教材例

2年「聞き上手になろう」

#### 学習の流れ

- ① 相手の話の内容を要約する。
- ② 相手の話の問題意識を持って聞き、自分の意見を話す。
- ③ 「聞き取り座談会」において、相手の話を要約したり、自分の意見を話したりする。